

FORUM

亡くした子どもの遺志を継ぐ

—— 関わったすべての人とともに ——

子どもの死は壮絶です。

深い悲しみと癒えることのない痛みを周囲の人々の心に刻んで、

一人旅立っていきます。

しかしまた、その姿は健気でどこか凜としています。

そして、関わったすべての人が、
その子からかけがえのない贈り物を
受け取っていることも確かです。



子どもを亡くした体験をもとに、
現在困難に立ち向かっている人々のために
貢献している人は少なくありません。
その活動が家族の再生につながることもあります。
関わった、医師や看護師、教師や福祉の現場の人々の
仕事の糧になることもあるでしょう。
亡くした子どもの遺志を継ぎ、
全国各地で様々な活動を続ける人々から、
その経験を学び、何が出来るのか、どうすれば出来るのか、
それぞれの人がそれぞれの新しい生き方を模索する、
そんな機会にしたいと願ってこのフォーラムを開催します。
今後、愛知(9月)、福岡、沖縄で開催を予定しています。

主催：NPO難病のこども支援全国ネットワーク(Tel.03-5840-5972)

後援：地方独立行政法人宮城県立こども病院

協賛：フランスベッドメディカルサービス株式会社

助成：財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団

参加費：無料(資料代500円)

定員：先着120名(当日会場にて受付)

コーディネーター：田中千鶴子(昭和大保健医療学部看護学科・NPOレスパイトケアサービス「萌」)

小林 信秋(NPO難病のこども支援全国ネットワーク)

第2回

日時：2006年7月22日(土) / 14:00~17:00
(13:00開場)

会場：仙台市医師会館

仙台市若林区舟丁64-12
(地下鉄河原町駅下車北出口 徒歩3分)

パネリスト：佐藤 由佳 (with ゆう)
大友 祥子 (宮城県重症心身障害児(者)を守る会副会長)
橋本 理美 (宮城県立こども病院病棟クラーク)
若林 一美 (山梨英和大学教授)
堺 武男 (宮城県立こども病院副院長)